

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】令和1年6月13日(2019.6.13)

【公開番号】特開2018-113740(P2018-113740A)

【公開日】平成30年7月19日(2018.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2018-027

【出願番号】特願2017-1498(P2017-1498)

【国際特許分類】

H 02 M 3/155 (2006.01)

【F I】

H 02 M 3/155 C

H 02 M 3/155 W

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月8日(2019.5.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0062】

以下、本構成の効果を例示する。

上述した故障検出装置3では、制御回路32の少なくとも一部が信号出力部32Aとして機能し、共通信号線71を介して検査用指示信号(複数の異常検出回路42, 52, 62に対して異常時の動作を指示する信号)を出力する。そして、信号分配部72は、制御回路32から共通信号線71に出力された検査用指示信号を複数の分岐信号線72A, 72B, 72Cによって各々の異常検出回路42, 52, 62に伝送する。このような構成であるため、実際には各異常検出回路42, 52, 62による検出対象位置に異常が生じていないときでも複数の異常検出回路42, 52, 62に異常時の動作を行わせることができる。更に制御回路32の少なくとも一部が判定部32Bとして機能し、検査用指示信号の出力時に複数の異常検出回路42, 52, 62から出力される信号に基づき、各々の異常検出回路42, 52, 62が故障であるか否かをそれぞれ判定することができる。しかも、複数の異常検出回路42, 52, 62に対して一斉に異常時の動作を指示することができ、これら異常検出回路42, 52, 62に検査用の動作を迅速に行わせることができるため、複数の異常検出回路42, 52, 62の少なくともいずれかにおいて故障が生じているか否かを、より短時間で判定することができる。